

加茂市



議会だより

第174号

平成24年1月31日

編集発行 加茂市議会

〒959-1392

新潟県加茂市幸町2丁目3番5号

TEL 0256-52-0080 (代表)

FAX 0256-53-4684 (直通)

ホームページ

<http://www.city.kamo.niigata.jp>

E-mail

gikaijimu@city.kamo.niigata.jp



新春の空へ!!

(消防出初式放水訓練)

〈主な内容〉

- 一般会計補正予算を可決… (2)
- 委員会の審査から…… (3)
- 平成23年の議会…… (3)
- 12人が一般質問に登壇…… (4)
- 議決状況一覧表…… (8)

新春を迎え、市議会を代表して、市民の皆様にご挨拶申し上げます。また旧年中は、本市議会に對しまして、格別なるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

今年辰年。辰の字は、草木が伸びて形が整うという意味だそうです。加茂病院問題、第三平成園の建設など、加茂市が抱える問題の解決の年となるよう努力してまいります。

本年も議会の活性化を図り、開かれた議会をめざしてまいりたいと考えておりますので、何とぞ、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



加茂市議会議長
高橋 禧雄

年頭に当たって

一般会計補正予算を可決

十二月定例市議会は、八日から二十六日まで会期十九日間で開かれました。この定例会では、各会計補正予算、前年度決算など市長提出議案十三件を慎重に審議の結果、すべて承認、原案可決、認定、同意しました。また、議員提出の意見書一件を原案可決し、関係機関へ提出しました。

12月定例会

この定例会に、市長から提出された議案の内容は、次のとおりです。

補正予算

一般会計は二百九十四万七千円を減額し、二十五号補正で三百五十万円を増額し、予算の総額を百四十九億二千七百五十八千円とするものです。

歳出の主な内容は、地方バス路線維持対策費六百五十七万円、七月の豪雨による災害復

旧の公共土木施設災害復旧費三百五十万円などを増額し、子ども手当給付費六千八百九十二万四千円を減額するものです。

国民健康保険特別会計は、五十五万六千円を増額、一千五百四万三千円減額し、予算の総額を三十一億九千七百七十五万七千円とするものです。

歳出の内容は、高齢者の被保険者証再交付に係る経費を増額するものです。

教育委員に同意

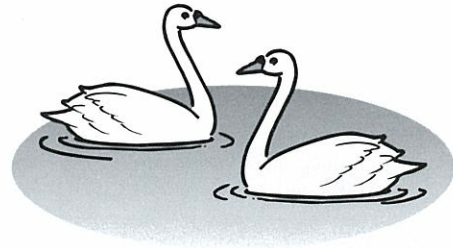
定例会最終日の本会議で欠員が生じている教育委員会委員に、新たに殖栗敏夫氏（長岡市、59歳）の任命について、同意しました。

平成二十二年 決算を認定

一般会計と各特別会計の平成二十二年

決算

一般会計と各特別会計の平成二十二年



平成22年度 会計別決算状況 (単位：千円)

区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支額	
一般会計	12,277,250	12,099,411	177,839	69,246	108,593	
特別会計	国民健康保険	2,996,029	3,014,610	△18,581	-	△18,581
	老人保健	11,028	1,721	9,307	-	9,307
	後期高齢者医療	270,229	265,355	4,874	-	4,874
	宅地造成事業	156,747	136,270	20,477	-	20,477
	下水道事業	1,955,932	1,943,714	12,218	1,135	11,083
	介護保険	2,516,363	2,479,901	36,462	-	36,462
	在宅介護サービス事業	513,692	447,866	65,826	-	65,826

11月臨時会

十一月二十二日に臨時市議会が開かれ、市長提出の議案四件を承認、原案可決しました。そのうち、一般会計補正予算は、地域集会施設整備事業費補助金三十万九千円を増額するものです。

1月臨時会

一月二十六日に臨時市議会が開かれ、市長提出の議案一件を原案可決しました。これは、一般会計補正予算で、土砂災害緊急事業費五百六十万円、小学校耐震補強事業費六千二百万円などを増額するものです。

委員会から審査から

各常任委員会に付託された議案及び請願は、十二月十四日から十六日の間に各常任委員会を開いて慎重に審査した結果、議案はすべて原案可決、請願は採択すべきものと決まり、最終日の本会議へ報告されました。

産業建設常任委員会

十二月十四日に委員会を開催し、一般会計補正予算の付託された議案一件について、説明を受け慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

社会厚生常任委員会

十二月十五日に委員会を開催し、一般会計補正予算など付託された議案二件について、それぞれ説明を受け、慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、すべて全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

総務文教常任委員会

十二月十六日に委員会を開催し、一般会計補正予算の付託された議案一件について、説明を受け慎重に審査した結果、特に

平成 23 年の 議 会

議会開催状況 [委員会は視察等を含む]

会 議 名		日 数
全 員	本 会 議	2 1
	連 合 審 査 会	4
	全 員 協 議 会	1 7
常 任 委	総 務 文 教 常 任 委 員 会	8
	産 業 建 設 常 任 委 員 会	8
	社 会 厚 生 常 任 委 員 会	8
常 設	議 会 運 営 委 員 会	1 1
特 別 委	決 算 審 査 特 別 委 員 会	4
	医 療 問 題 特 別 委 員 会	3
	美 人 の 湯 運 営 検 討 特 別 委 員 会	1
そ の 他	議 会 だ よ り 編 集 委 員 会	3
	各 派 交 渉 会	4
	各 派 代 表 者 会 議	2
合 計		9 4

決算審査特別委員会

一般会計と各特別会計の平成二十二年度決算については、三つの決算審査特別委員会を設置し十二月十九日から二十一日の間に各特別委員会を開催し、慎重に審査を行いました。

意見・要望を付すこともなく、全会一致で原案可決すべきものと決定しました。
また、郵政改革法案の速やかな成立についての請願は、紹介議員の説明の後、審査を行い、趣旨妥当として、全会一致で採択すべきものと決定しました。

意見・要望を付すこともなく、全会一致で認定しましたが、決算審査第一及び第二特別委員会では、討論の後、採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。
また、各特別会計決算は、いずれも全会一致で認定すべきものと決定しました。

決算審査特別委員会の構成

※議会選出監査委員、議長を除く。

- (◎委員長 ○副委員長)
- 決算審査第一特別委員会**
◎小野吉太郎 ○高井 保
森川 豊 安田 憲喜
樋口 浩二 佐野正三良
・一般会計歳出のうち所管の部分
- 決算審査第二特別委員会**
・国民健康保険特別会計
・老人保健特別会計
・後期高齢者医療特別会計
・介護保険特別会計
・在宅介護サービス事業特別会計
- 決算審査第三特別委員会**
◎広野 豊作 ○田沢 弘一
滝沢 茂秋 中野 元栄
樋口 博務 安武 秀敏
・一般会計歳出のうち所管の部分
- 浅野 一明 亀山 重光
茂岡明与司 関 龍雄
・一般会計歳入及び歳出のうち所管の部分
- ・宅地造成事業特別会計
・下水道事業特別会計

◎山田 義栄 ○保坂 裕一



案件と議決状況

案 件	件 数	議決状況	件 数
市 長 提 出	条 例	原 案 可 決	4 8
	予 算	認 定	9
	決 算	同 意	6
	人 事	承 認	2 2
	専 決		
	その他		
計	8 5	計	8 5
議員提出	意見書	原 案 可 決	7
請 願	9	採 択	9
		不 採 択 継 続 審 査	
合 計	1 0 1	合 計	1 0 1

ほかに陳情2件を配付して報告

他市議会議員等の視察来市 3件 11人

広報かもについて

新政クラブ 安武秀敏 議員

質問 ① 広報かも平成二十三年二月号が十月に発行され、市民はあきれたり、驚いたり、怒りをぶつけてくる人もいます。加茂市には、立派な広報かも発行規程がある。規程どおり発行日に発行するよう強く要望する。

二月号発行の契約は、いつ行い印刷費用の支出命令はいつあったのか。

② 九月定例会でも指摘したが、平成二十三年五月号の記事で、ことし四月の市

議会議員選挙に関して、定数の削減は、ことしからでなく四年前であり、新人議員の当選二人を四人と記載した記事の訂正に

市政の内容を聞く

一般質問

十二月定例会では初

日から十二人の議員が

一般質問を行い市政全般について所見や

執行状況を問いただしました。その要点をお知らせします。



12月定例会本会議

ついてどう考えているか。 答弁 ① 広報かも二月号が遅れた理由であるが、今市内の全区長さんが、市民の皆様と呼びかけて御協力いただいている救命救急センターを県立加茂病院に併設するよう求める署名運動に当たり、その経過と説明を行うに機が熟したものと判断し、このたびの発行となったものである。

② 五月号の記事の訂正について

国保税の収納対策、西小関連などいくつかの提案・要望について 開明の会 田沢弘一 議員

質問 ① 国保税は、加入者間の負担の公平の観点からも収納率の向上対策に力を入れるべきと考える。納入の相談や収納対策として、嘱託員を現在の一人体制をもとの二人にすることで収納の成果が出るかと考えるが、いかがか。

では、このたび発行された広報かも八月号で訂正している。記事の誤りについては、深くお詫び申し上げます。人間なかなか完璧な人生を送ることは難しく、誤りを犯すこともあるので御容赦いただきたく、よろしくお願ひ申し上げます。

なお、広報かもについては、市長の専権事項であるので、これ以上の答弁は差し控えさせていただきます。

② 西小学校の耐震診断を一日も早く実施し、その結果を見きわめて、次の段階に進むことを要望するが、見解を聞く。 ③ ごみ収集の間隔があくと、保管が大変であり、ごみ置き場に出されたままというケースが見受けられる。八月十五日と年末年始はともかく、それ以外の

加茂市における特別防災救助隊の現況について 新政クラブ 高井 保 議員

質問 ① 七月豪雨のとき、急遽特別防災救助隊を編成し、住民の避難に当たったという報告があった。しかし、ほとんどの人たちは、このことを余りよく知らない。

災害時の備えのために随時広報が必要であり、広報だけでなく訓練も必要であると思うが、市民への対応策は、現在どのよ

詳しくは会議録で

十二月定例会の会議録は、二月下旬に発行予定です。 図書館、勤労青少年ホーム、かも川荘、ゆきつばき荘、各「ミニコミュニティセンター」でらんくください。 なお、行政視察報告についても、会議録と同じ場所でごらんください。 また、視察報告は、市議会ホームページでもらんくなれます。

④ 国民の祝日に収集できないか。 ④ 市外の人から加茂大橋に至る順路がわかりづらいと言われる。案内板を設置できないか、県に要望していただきたい。 答弁 ① 嘱託徴収員の二人体制については、一人でも対応できていると思っています。 ② 現在進めている加茂小学校の事業が終了してから、その次に実施したいと考えている。 ③ 臨時収集するとした場合、一日当たり百八万円の費用が必要となる。また、ごみ収集委託業者、清掃センター職員等の勤務体系などの調整もあり、なかなか難しい課題となるので、いままでどおり市民の皆様から御理解、御協力をいただかざるを得ないものと考えている。 ④ 加茂市が設置することとせざるを得ないと考えているが、財政事情も勘案しながら設置していきたい。

うになっているのか。 ② 市の財政は、税収も最近は減少が続く、依存財源が六〇％以上でなければ経営はまなならない。早期に依存財源を五〇％以下でやっていけるくらいの、財源活力を目指すための市民との協議を開くべきである。 市の財政と市民の進むべきあり方をどう考えているか。

答弁 ① 特別防災救助隊はまだ編成されていない。七月の豪雨災害で、図らずもいきなりの実戦対応となったわけであり、実質的に特別防災救助隊のシステムが縦横に稼働したことになる。このたびの豪雨災害の避難対応が、極めて効果的であることがよくわかった。市民の皆様を巻き込んだ訓練のための訓練は、必要ないと考えている。 ② 平成二十二年度決算における歳入で、依存財源は六〇・七％、自主財源は三九・三％となっている。これで制度資金の預託金収入を除くと、それぞれ六六・二％と三三・八％となる。日本海側の貧しい市町村では、押しなべて依存財源が大きくなるのは当然のことである。

加茂市の財政状況及び7月豪雨災害の復旧復興状況と諸問題について

市民クラブ 樋口 浩二 議員

質問 ① TPPは農林水産業をはじめ金融、医療、食品安全基準など二十一分野で国民生活に多大な影響を与える。このTPPについて、意見を伺う。

② 公債費比率、起債制限比率の今後、三年先の見通しはどうなるのか。契約率についても伺う。

③ 第三平成園の増床計画について伺う。

④ 今滝冬鳥越線は七月豪雨災害により土砂崩れ等があるが、供用開始はいつか。

答弁 ① TPPなどというのは、アメリカの輸出をふやすために提唱しているものであり、韓国も中国もそんなものには乗っていない。日本だけがそんなものに乗って痛い目に遭い、結果、日本農業は壊滅的な打撃を受けるものである。日本の農業を守るためには、断固として反対していかなければならないと考えている。

② 地方交付税の額がその年度ごとに大きく変動し、見通しが立てられない状況にあるため、両比率の今後の見直しを立てることは難しい状況にある。十二月一日現在で、契約率八七・五％となっている。

③ 入所四十人、ショートステイ十人、デイサービスセンター三十五人定員の第二期工事に早く着手したいと考えており、現在県と協議を進めている。

人口減少時代における加茂市の政策について

市政クラブ 広野 豊作 議員

質問 ① 新たな模索が求められるときの施策は、特に起業の視点が重要と考える。時代性に合った事業の開発は、各事業者の責任において取り組むのが原則であるが、チャレンジのヒントとして各業界に対する支援策について、補助金など資金面の援助のほかにどんなことをやっているのか伺う。

② 良寛様について、加茂市に関係する部分を取り上げ、映像と音声による説明で強調する方法を勧めたい。

③ 賀茂次郎義綱公のお墓であるが、これを観光の対象にして地域振興に生かせないか。

答弁 ① 新技術や新製品の開発については、商工費の産地振興事業費に新技術新製品開発事業費について、毎年五十万円

④ 七月豪雨災害による被災箇所については、復旧工事を早急に発注し、完了はおおむね来年の十一月末ごろを目途に考えている。

業補助金として、毎年五十万円の予算を計上し、新技術や新製品の開発を目指す企業に対し、いつでも支援できるようにしている。

新たな事業の開発に当たり、企業等として加茂市に対して要望等があれば、これまでと同様にその内容をよく聞き、相談していきたいと思う。

② 良寛の遺墨などを映像と音声で編成して記録し、見られるようにしてはいかかかとの提言であるが、やはり実物を見て鑑賞していただくことが、最もよい方法であると思っている。

③ 義綱公のお墓は大変立派なものである。歴史的な資源、また観光資源として大切にしていきたいと思う。

行政の情報発信について

大志の会 滝沢 茂秋 議員

質問 ① 広報かもお知らせ版の中に市民活動を紹介するコーナーを別に設けることを検討いただきたい。

② 日常的な情報発信と災害時の情報発信を、さらに効率よく

された情報を正しく判断してもらえよう、希望する方を対象とした市民防災講座を開催してはどうか。

答弁 ① 紙面の中で行政から伝えなければならない情報と、生涯学習や市民活動など社会活動に関する情報を明確に分けることについては、基本的にはそうすべきだと思う。そういう方向でやっていきたいと思う。

② 災害時の情報発信は、NTTドコモのエリアメールで対応している。また、日常的な情報

市政執行のさらなる財源事業の公正向上について

民主党 森川 豊 議員

質問 ① 市民カラオケ大会の入場料と出場料は同額である。出場者は、自分の出場料と合わせて、ほかに四枚分の入場券購入が必要とのことである。今後

も同様に行うのであれば、広報お知らせ版にそのことを記載することを望んでいるが、検討いただきたい。

② この事業は当初予算でどのように運営計上しているか。

③ 現公演時間の前後を広げることは、公演に支障となるか。

答弁 ① 第二十六回大会から出場者の皆さんにもできる範囲で入場券の売りさばきをお願いするようになった。出場者の中には無理だという方もいるので、無理強いはいないように、またそれゆえに出場できないという

発信については、ホームページに休日当番医や各イベントカレンダー、広報かもお知らせ版等を掲載しているため、パソコンや携帯端末からは常にアクセスできる状況となっている。

③ 市民の皆様には避難指示、避難勧告、避難準備情報とはいかなるものであるか、よくお知らせする必要があると考えている。しかし、それは数少ない一部の人たちしか集まらない市民防災講座ではなく、広報かも等の広報紙などで広く行いたい。

② 平成二十三年度の第三十回大会では、入場者六百人、出場者六十人で、歳入五十二万八千円、歳出は出場者の参加賞品、印刷費、照明等オペレーター費などで八十三万七百元を見込んでいた。

③ 第二十四回大会は三十七人の出場で午後一時開演、午後五時終演であったが、第二十五回大会からは出場者枠が六十人にふえたので、正午開演、午後五時半ごろの終演になっている。公演時間が五時間半前後の長丁場のため、途中で帰るお客様も結構いるので、今が限度である。ことしの大会は、六十人の出場枠に五十五人が出場した。

災害時のボランティア体制の構築について

開明の会 浅野一明 議員

質問 ① 特別防災

救助隊の計画では、中央指令所と物資調達・人員受け入れ班において災害ボランティアを取り扱うこととしているが、受け入れるに当たっては、ほかの団体と共同でボランティアセンターのような形を採用するのか、それともまた別の方法を考えているのか。

② 市長の名による

今回の救命救急センターを加茂病院に併設することを求める署名運動は、公権力が市民への思想及び良心の表明を強制するものとして、憲法第十九条に反し、思想及び良心の自由を侵害する可能性があるように思うが見解を伺う。

答弁 ① 今後の体制整備に当たっては、実際にボランティアを受け入れることになった市町村の状況を参考にし、また、議員の示した体制整備の方策についても参考にしたい。

② 加茂市民の生死の関頭において、決定権を持っている県知事に対し、市長が区長の皆さんと一緒に住民運動の先頭に立つことは、まさに憲法で保障された思想及び良心の自由の発露である。

市長名による文書と言っているが、これは誤りである。加茂市長と加茂市区長会長及び四人の区長副会長の連名である。このたびの署名運動では、賛

Welcome Kamo City「ウェル加茂」について

大志の会 森山一理 議員

質問 ① 駅前通りには常に左右に駐車している車があるが、この解消策はないか。

駅前ロータリーは一方通行であるが、これを知らずに進入してくる車が後を絶たない。対応策を求める。

② 加茂駅東口に下車すると、正面にはメリアの外壁が見えるが、加茂市を訪れる人に、何か歓迎の表示が必要ではないかと思うが、一考願いたい。

③ 加茂大橋の開通後における経済効果について尋ねる。

④ 国道八号から加茂市へ向かう際、加茂大橋手前付近に歓迎を表すサイン表示を求めるが、一考願いたい。

答弁 ① 商店街から駐車違反車両を取り締まってもらいたい

成する人もいれば、反対の人もいる、沈黙している人もいる。全く自由である。思想及び良心の自由を侵害する可能性は全くない。

という要請は一切ないし、加茂警察署もこのままの自然な流れで対応していただいているわけであって、現状のまましていくことがよいものと考えている。

駅前広場前面の出口から誤って進入してくる車があることは進入禁止の標識もあり、あまり聞いたことがない。現状のままよいものと考えている。

② 外壁にある催事告知のサイン表示の掲示場所は、ショッピングセンターメリアのものであり、その経営のために利用されるべきものであるかと思う。

③ その存在がもたらす効果は絶大なものがあるが、これを数字で表すことは困難である。

④ 提案は参考として承り、検討の上、対応していきたい。

空き家対策について

公明党 佐野正三良 議員

質問 ① 全国的に空き家の増加が問題になっている中、国や自治体が費用を補助する空き家再生等推進事業が活用されている。加茂市における空き家率、また再生、治安、防災対策につ

いて尋ねる。

十五分弱でカバーできるようなある。安全、安心と高度救命のヘリポート設置について尋ねる。

③ 救命救急センターの設置について、今後の方針と対策について尋ねる。

答弁 ① 店舗併用住宅を含んだ住宅総数は、一万三百九十戸で、そのうち空き家は九百七十戸、空き家率は九・三%となっている。

平素から空き家についての苦情などがあれば、地元区長さんとも連携して対処し、必要とあ

TPP（環太平洋経済連携協定）について

市政クラブ 茂岡明与司 議員

質問 ① TPPは、輸出産業メーカーと貿易商社のみが富むだけで、貧富の差が増すのではないか。食や医療のほかに工業製品でもコスト競争により安心、安全が損なわれるのではないかなど不安材料がいっぱいで、TPP参加は決してよい方向にないと思うが、所見を伺う。

また、交渉から離脱することになっても、日本とアメリカの安全保障について、余り大きな影響はないのではないか、影響があったとしてもTPPに参加して国益を損なうことの方が大きいのではないかと思うが、所見を伺う。

答弁 ① TPPなどというものは、アメリカ合衆国のオバマ大統領が下がった人気を挽回す

れば所有者の調査や所有者との連絡を行い、また場合によっては加茂警察署とも連携して、対応しているところである。

② 防災ヘリコプターの着陸場として、市内で七カ所が着陸適地とされており、ドクターヘリについても同じ場所でのよいのではないかと考えている。

③ 区長の皆様方とともに泉田知事のもとへ署名を持っていき、救命救急センターを加茂病院に併設することを強く要望していきたいと考えている。

ることを目指して、アメリカの輸出をふやすために提唱しているものであり、韓国も中国もそんなものには乗っていない。日本だけがそんなものに乗って痛い目に遭い、結果、日本農業は壊滅的な打撃を受けるものである。日本の農業を守るためには断固として反対していかなくてはならないと考えている。

日本の地勢学的位置と軍事力なくして、アメリカの世界軍事戦略、アジア軍事戦略は成り立たない。百機の対潜哨戒機を中核とする世界第二位の日本の対潜戦力なくして、アメリカの核抑止力は成り立たない。

TPPなどだけ飛ばしても、日本の安全保障の関係は、何ら影響を受けるものではない。

救命救急センターの早期建設と加茂病院の充実に向けて

日本共産党 亀山重光 議員

質問 ① 市長は、加茂病院を救命救急センター併設病院として下条地域に建設されることを最良の案としている。仮に新潟県が三百床から五百床規模の病院を建設するとなれば、ここに建設された加茂病院は、現在担っている加茂、田上地域の地域医療病院としての性格、役割ではなく、県央医療圏全体の住民を対象とした救命救急医療を含む中核病院としての性格、役割を担うことになるのではないか。加茂市民にとって、あるいは田上町民にとっては、現在の加茂病院と違う対応、サービス低下となることを危惧、懸念するが、

見解を伺う。

② 病院用地を無償で提供することについて、市民にも市議会にも、もっと丁寧に説明する必要があると思うが、見解を伺う。

答弁 ① 奇跡的とも言えるすばらしい病院が加茂市民の手の届きそうなところまで来ているのである。それをスケールの小さな理由をつけて、しかも起きるとは思われない事態を列挙してチャンスをつかまないとこの法はないと思う。

② 市議会において何度も説明をしてきており、実際、この用地のうち圃場整備の関係で三町歩を約一億三千六百万円で加茂市が取得することについて、平成二十三年一月二十四日開催の臨時市議会において議決をいただいている。また、地主の方の合意のもとにさらに一町二反の土地を確保してある。

郵政改革法案の速やかな成立を採択

十二月定例市議会で受理した請願は一件で、審議の結果、趣旨妥当として採択しました。

世田がん

1件

会代表

郵政改革法案の速やかな成立を求める意見書を提出

採択したもの
郵政改革法案の速やかな成立についての請願(七谷地区区長)

定例会最終日の本会議において

3 月例会
定例

傍聴してみませんか

加茂市を明るく住みよいまちにしていくため、議会の活動状況を知り、市政の内容を理解することは、大切なことです。市議会は、誰でも傍聴できます。

皆さんが選んだ議員が皆さんの声を市政に反映する場が議会であり、市民にもっとも身近な審議機関です。

市議会は、毎年三月、六月、九月、十二月に定例会が開かれ、定例会では、市政全般について

議員提出による意見書一件を可決し、関係機関へ提出しました。

◎郵政改革法案の速やかな成立を求める意見書

平成十九年十月、郵政民営化法に基づき、郵便・郵便貯金・簡易保険のいわゆる郵政三事業は、持株会社である日本郵政株式会社の下に、それぞれの事業を継承した三つの株式会社と三事業会社から窓口業務等を受託する郵便局株式会社の形で民営化・分社化されました。

当時、政府は郵政民営化について、市場における経営の自由度の拡大を通じて良質で多様なサービスを、安い料金で提供することが可能になり、国民の利

一般質問も行われます。

このほか、必要により特定の案件を審議する臨時会が開かれます。

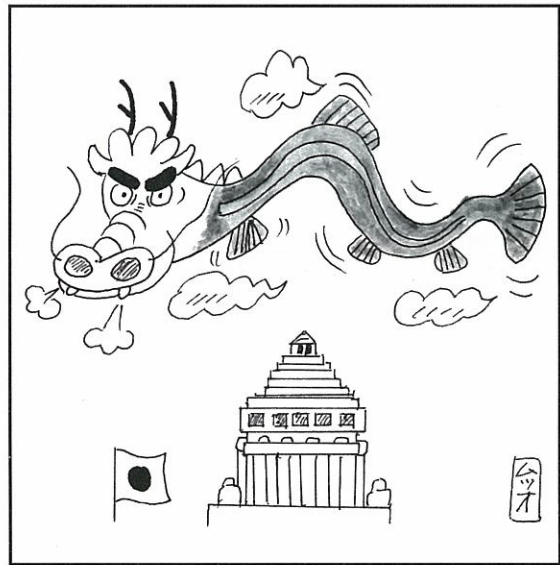
次の定例会は、三月ですが、傍聴されるときは、受付簿に氏名などを記入していただくだけで入場できますので、お気軽に傍聴にお出かけください。

傍聴席は、一般席40、車いす席4、記者席8の合計52席となっています。

便性を最大限に向上させるとしており、国民もそれを期待し、支持した経過があります。

しかしながら、現状において、郵便局会社と郵便事業会社が別組織となったことにより、配達を行う郵便事業会社の社員が貯金や保険を扱うことができなくなるなどサービスの低下が指摘されています。こうしたことは、特に、公共交通機関の利便性が悪い地方の高齢者にとっては深刻な問題であり、郵政三事業のサービスを一体化するなど経営形態の見直しが求められています。

よって、国におかれては、国民にとってより良いサービスが提供できる郵便局ネットワークを再構築するため、現在、国会で継続審議となっている郵政改革法案を速やかに成立させ、国民の期待に応えるよう強く要請いたします。



ドジョウ型辰年

羽生 六男

11月臨時会 議決状況一覧表

市長提出議案		
議案番号	件名	議決状況
69	専決処分の承認（23年度加茂市一般会計補正予算第19号）	承認
70	専決処分の承認（23年度加茂市一般会計補正予算第20号）	〃
71	専決処分の承認（23年度加茂市一般会計補正予算第21号）	〃
72	23年度加茂市一般会計補正予算（第22号）	原案可決

12月定例会 議決状況一覧表

議員提出議案		
7	郵政改革法案の速やかな成立を求める意見書	原案可決
市長提出議案		
73	専決処分の承認（23年度加茂市一般会計補正予算第23号）	承認
74	23年度加茂市一般会計補正予算（第24号）	原案可決
75	23年度加茂市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	〃
76	22年度加茂市一般会計決算	認定
77	22年度加茂市国民健康保険特別会計決算	〃
78	22年度加茂市老人保健特別会計決算	〃
79	22年度加茂市後期高齢者医療特別会計決算	〃
80	22年度加茂市宅地造成事業特別会計決算	〃
81	22年度加茂市下水道事業特別会計決算	〃
82	22年度加茂市介護保険特別会計決算	〃
83	22年度加茂市在宅介護サービス事業特別会計決算	〃
84	教育委員会委員の任命（殖栗敏夫氏）	同意
85	23年度加茂市一般会計補正予算（第25号）	原案可決

1月臨時会 議決状況一覧表

市長提出議案		
1	23年度加茂市一般会計補正予算（第26号）	原案可決

連合審査会

十二月十三日に連合審査会を開催し、各常任委員会及び各特別委員会に付託された議案十件について、総括質疑を行いました。

また、一月二十六日に月例会
員協議会を開催し、総務文教・
社会厚生常任委員会、議会運営
委員会及び医療問題特別委員会
の行政視察報告や事務に関する
説明書の質疑を行いました。

全員協議会

十一月二十二日に月例会全員協議会を開催し、産業建設常任委員会の行政視察報告や事務に関する説明書の質疑を行いました。

議会日誌

〔11月〕

8～10日 総務文教常任委員会

行政視察（笠岡・亀岡）

〔視察事項〕

18日

議会運営委員会
中越地区議長会（見附）

21日

全国議長会地方財政委員

15～17日 議会運営委員会行政
視察（羽咋・勝山）

〔視察事項〕

・議会運営全般

8日 社会厚生常任委員協議会
現地視察

計画

・亀岡市まちづくり実施

・笠岡市定住促進ビジョ
ン

22日 会（東京）
臨時市議会

月例会全員協議会
各派代表者会議

1日 議会運営委員会
〔12月〕

8～26日 定例市議会

〔1月〕

24日 議会運営委員会
臨時市議会

26日 月例会全員協議会

議会だより編集委員会

議会だより編集委員

任期満了により、各常任委員
会から次の者が、議会だより編
集委員に選出されました。

- 委員長 高橋 禧雄
- 委員 安田 憲喜
- 委員 滝沢 茂秋
- 委員 中野 元栄
- 委員 茂岡 明与司
- 委員 樋口 浩二
- 委員 関野 龍雄
- 委員 佐野 正三良

次の定例会は 3月6日（火）から開催の 予定です。